

学校から消えてしまったもの

かつては普通に学校現場で使われていたが、今では使われなくなったものや、使われなくなった用語がある。子ども達の親世代にはあったものが、今はない。教師にとっても、時代の変化への対応が迫られています。それらを拾ってみました。

1 学校から消えたもの

(1) 消石灰 … グラウンドの白線用として使われてきたが、アルカリ性のため、粉末が目に入ると有害なことから、無害な炭酸カルシウムになりました。

(2) チョーク … 教育のIT化に伴い、チョークと黒板という学習スタイルは変わりつつあるが、関連して、販売大手の羽衣文具が、業績不振、後継者不在により、平成27年に廃業したそうです。

(3) 手洗い場の石けん … 流しやトイレで見かける、ネットに包まれた石けん。しかし汚れていて、使っている子ども達は少なく、今では、ポンプ式のハンドソープへじわじわと変わりつつあります。



(4) ジャポニカ学習帳 … 虫の写真が気持ち悪いという理由で、昆虫写真が消えました。今ではすべて植物の花に。

(5) クレヨンのはだ色 … 肌の色と限定するのは差別的だと、不快に思う消費者や、国際的な感覚に配慮し、メーカーの自主判断として、「パールオレンジ」や「うすだいだい」に変えられました。



(6) 名札 … 小学校では、連れ去り等の防犯上の理由から、名札をつけずに登校し、学校に着いてから名札を着用するという学校が増えてきています。下校の時は、名札は教室にある専用のケースに入れて置いて帰ります。

(7) アルコールランプ … ビーカーの水を加熱する等の理科実験で使う物でおなじみのものですが、アルコールランプは、引火や爆発の危険もあり、習熟を必要とします。おまけに、三脚と金網、マッチ等をセットで使用しないとうまくいきません。そこに登場したのがガスコンロです。手軽で安全性も高く、本来の学習に専念できることから、ほとんどの小学校で取り入れられています。



(8) 身体測定 … 身体測定のうち、座高測定、ぎょう虫検査が平成28年度から廃止されました。理由は、健康管理と座高の関係がわかりにくいことや、子どもの寄生虫感染が激減していることから、省略可能と判断したとのこと。

(9) 組み体操 … 運動会当日や練習中の深刻な事故を受け、タワーやピラミッドを廃止する学校が増えています。運動会の花形であるだけに、なかなか切れない事情はあるものの、事故に遭った子どもや保護者の思いを考えると、危険な競技を無くしていくのは、当然の流れかなとも思います。



🟢 組み体操やマスゲームをいつやめるのか。脈々と受け継がれてきた伝統行事をやめるのは、勇気がいることです。ある校長先生は、各方面からの非難を覚悟の上で、「俺の代で引導を渡す。」と言って廃止に踏み切ったそうです。

(10) 腰洗い槽 … プールに入る前に腰をつけて消毒するための腰洗い槽、子ども達は冷たい中我慢して入っていたが、「高濃度の塩素に対して過敏症の傾向のある利用者については、腰洗い槽は使用させず、シャワー等による洗浄で代替させること。」という厚生省通知（平成4年）及び「その使用、不使用については、それぞれの学校において決定するようにする。」という文部省通知（平成4年）を受けて、現在では使用されなくなっています。

(11) わら半紙 … ざら紙とも言われ、長く印刷用紙として使われてきましたが、今では印刷機の高機能化と共に、上質紙にとって代わられるようになりました。

🟢 印刷と言えば、かつてはわら半紙が当たり前で、上質紙は特別な場合しか使われない高級品でした。しかし再生紙が出始めるようになって、値段の逆転現象が現れました。わら半紙を使う必然性が無くなったわけです。それなのに、授業では上質紙を使いつつも、保護者向けの文書は、保護者感情を考慮して、あえてわら半紙を使うという奇妙なことをやっていたのもこの時期でした。

(12) LL教室 … Language Laboratory の略で、英語教育に利用されてきましたが、カセットテープレコーダー等の機器の老朽化や部品の製造中止のため廃棄、現在では、コンピュータ室でCALL（Computer Assisted Language Learning）の授業に移行されています。

- (13) 百葉箱 … 気温等の気象観測用に設置されていますが、今では風雨にさらされ、傷みが激しいものが多い。小4理科で、1日の気温の変化を測る学習がありますが、実際に観測に利用している学校はほとんど無いため、朽ち果てる運命なのではないでしょうか。買えば30万円ぐらいします。



2 学校から消えた用語

- (1) 領域 … かつては道徳、学活等を指していましたが、今は使わず、「教科等」と呼んで、教科とは区別した表現をしています。文科省の視学官の言葉を借りるなら、あえて領域という言葉を使うのであれば「教科領域」や「教科外領域」という表現が適切でしょうか。
- (2) 机間巡視 … 授業中に子ども達の机の間を巡回して指導することですが、平成5年頃からでしょうか、もう「巡視」は止めようと言われ始めました。それからは、目的を持った指導や支援、評価を行う意味合いから、「机間指導」という言葉に改められています。（ちなみに、無計画にぶらぶらと歩き回るのを、机間散歩とも言われます。）
- 👤 一度インプットされた言葉は、なかなか消えないものです。それが若いうちに覚えた言葉であれば尚更です。例えば「机間巡視」、私の若い頃は机間巡視で育ちましたから、何の疑いもなく普通に使っていました。しかしいざ改められると、今度は使っている人がいると気になってしまうのです。もう20年以上もたっているのに、若いうちにすり込まれた言葉は、つい出てしまうんだらうなど。
- (3) 生活指導 … 生徒指導が一般的ですが、歴史的には、「生活指導」が先に生まれています。生活指導は、1920年頃からの生活訓練や生活綴り方の教育運動で生まれ、1960年頃から、集団づくりの生活指導実践が盛んになりました。この生活指導の系譜を引き継ぐものとして、1965年、文部省は「生徒指導の手引」を刊行し、以後生徒指導を公的用語としています。しかし現実には、生活指導と生徒指導は混在したまま多くの学校で使われているのが実情のようです。
- (4) 検閲 … まれに、通知表を相互に点検することを「相互検閲」と表現している学校を見かけますが、「検閲」は憲法21条で禁止されているので、使ってはいけない用語です。使うなら、「相互点検」かと。

3 進路関係で使わなくなった用語

- (1) 事前相談 … 私立高校が主催する入試の相談会の昔の言い方ですが、事前に確約されるという印象を払拭するために、今では「入試相談」と呼んでいます。
- (2) 査定会 … 生徒の進路希望と合格可能性について、校内で検討する会議の呼び方ですが、「査定」という言葉は適切ではないとの理由から、今では「進路検討会」と呼んでいます。
- (3) 偏差値 … 業者テストの偏差値を利用した進路指導を禁止する、という文部省の通達（平成5年）により、偏差値は悪者となり、学校現場からは消えました。しかし学習到達度を見るための実力テストなどは今でも行われており、「標準値」という表現が使われています。偏差値と同じ意味です。
- (4) 確約 … かつて私立高校が、受験生に事前に合格を約束する意味で「確約」という表現を使っていましたが、平成5年以降は確約の仕組みが消えました。今使っているのは、「優遇」という表現でしょうか。
- (5) すべり止め … 進路の面談で受験校を決めるときに、「すべり止め」という表現が使われていましたが、学校格差を意味するので今では使っていません。代わりに「安全圏」という表現をしています。
- (6) 底辺校 … 学力が他校に比べてかなり低い学校のことを表現した言葉であるが、今では、差別的な表現を避け、「生徒指導困難校」、「教育困難校」、又は「課題集中校」等とといいます。

4 法改正により、制度が変わったもの

- (1) 国立大学 … 平成15年に制定された国立大学法人法により、文科省の内部組織から独立し、「国立大学法人」が設置する大学へと移行しました。これにより、全国の国立大学の頭には、国立大学法人という名称が付きます。例えば千葉大学の正式名称は「国立大学法人千葉大学」というふうに。公文書に書くときも一緒です。
- どこが変わったかということ、各大学が独自に学校運営や経営を行えるようになったことです。この結果、国の後ろ盾が無くなったため、入学金が私立大学並みに高くなったり、経営が破綻することもあり得るということです。また職員も公務員では無くなるが、公務員に準ずる「みなし公務員」となるということです。

- (2) 学校安全会 … 学校でけがをしたときに、給付金が「学校安全会」から支給されていましたが、平成15年より、「独立行政法人日本スポーツ振興センター」が設立されて事業が継承されています。ですから、親世代の頃は、学校安全会で通っていたかと思います。
- (3) アクティブラーニング … 受け身の学習ではなく、自ら主体的に取り組む学習方法のことで、大学の教育改革の中で出てきた言葉です。近年この言葉が話題になっていますが、文科省は今はこの言葉を使わず、令和2年度から始まる次の学習指導要領からは、「主体的・対話的で深い学び」と表現しています。
- ちなみに、小中学校ではすでに実践している学習方法なので、目新しいものでは無いですが、「アクティブラーニング」という言葉に皆、とびついた感がします。
- (4) 勤務評定 … 教職員の勤務成績を校長が評定する制度が勤務評定であるが、従来本人には非開示でした。これに代わって「業績評価・能力評価」による勤務評定が平成18年より試行を開始し、平成28年に完全実施となりました。その結果は、本人の求めに応じて開示し、校長が説明をすることになりました。

5 特別支援教育で変わったもの

平成18年の学校教育法の改正により、特別支援教育が位置づけられました。それに伴って、それまで使われていた名称や表記が替わりました。

- (1) 特殊学級 … 「特別支援学級」に名称変更することになりました。
- (2) 盲・聾・養護学校 … 「特別支援学校」に一本化されました。
(ただし千葉県では、盲学校と聾学校は存続しています。)
- (3) 普通学級 … 普通学級という名称は、差別につながるということで、特別支援学級以外の学級という意味で、「通常学級」と言われています。
- (4) 障害者 … 障害は、社会のあらゆるところに存在します。しかし、障害という言葉に「者」をつけると、その人が害そのものであるという解釈をされてしまい、不快感を示す人が多い。言い換えるとすれば、「生活の妨げとなる障害を避けることができない状態にある人」という表現が適切でしょうか。そのため、害の代わりに「がい」や「碍」^{がい}を用いて「障がい者」や「障碍者」と表記する自治体が増えています。
- 特に、2020年の東京パラリンピックを見据え、障害を「障碍」と表記できるよう、法改正への動きがみられています。

- (5) 介助員 … 身体的な障害や発達障害のある児童生徒へのサポートが仕事ですが、介助員や学習支援員を包括する名称として「特別支援教育支援員」として配置されています。(通称、支援員と呼ばれています。)

5 人権関係

- (1) 同和教育 … 部落差別を解消するために行われていた教育のことですが、同和対策に関わる特別措置法の期限終了とともに、平成14年、いろいろな差別を解消することを目的とする「人権教育」の推進に切り替えられています。
- (2) 欠損家庭 … 差別的な表現という意味で、今では使われていません。

6 男女共同参画に関連して

平成11年、「男女共同参画社会基本法」が制定され、学校においても、男女平等の理念に基づき、変わってきたものがあります。

- (1) 学級名簿 … 男女別名簿によって、男子優先の固定観念を植え付けることのないようにと、小学校を中心に男女混合名簿（五十音順）の導入が進められています。また、性的少数者(LGBT)への配慮から、高校にも導入が広がっています。

● 市教委に提出する書類に、「学級名簿」があります。氏名、住所、電話番号、保護者名などが書かれているものです。その一番右端に、保護者の続柄の欄があります。昔はそこに父とか母とか、義父とか書かれていましたが、今ではすべて「子」と表記する様になりました。諸事情に配慮したものといえるでしょう。

- (2) 「さん」で呼ぶ … 男女混合名簿の導入とともに、男女を問わず「さん」付けで呼ぶようになり、また、いじめ防止のためにも、あだ名や呼び捨てを避け、「さん」で呼ぶようにする小学校が増えています。

- (3) 父子家庭・母子家庭 … 性別を区別しないという意味で、「ひとり親家庭」という呼び方が使われるようになりました。

- (4) 女子校 … 男女平等の理念や男子生徒の学校選択肢の拡大のため、女子校の共学化が推進されています。千葉県では、平成14年度より、13校の公立女子校のうち11校が統合・再編され、共学校へと変わっています。(ちなみに、千葉女子、木更津東のみ女子校として存続しています。)

(5) 女性管理職の登用 … 文科省は、校長等の管理職について、2020年までに、登用率30%を目標に、都道府県教委に働きかけています。(千葉県は平成30年時点で15.9%となっています。)

● 世の中は移りゆき、教育界も変わっていくのに、一度インプットされたことは、なかなか消えないものです。もう何十年も前のことですが、ある夏休みの登校日に、中学3年生を対象に、高校の説明会と称して、高校に進学した卒業生を呼んで、自分の学校の紹介をしてもらうという企画をしました。昼ご飯をごちそうしてあげるからと卒業生に声をかけ、来てもらいました。ほとんどの卒業生は、自分の学校の良いところをアピールして、「来てね。」と書いていましたが、中に一人だけ、「うちの学校は、生徒が廊下につばを吐いていて、汚い。」と言った卒業生がいました。私は汚れた廊下の情景が目に浮かびました。その頃は校内暴力も下火になった頃で、当時偏差値60近い高校でしたので、信じられないことでした。3年生は神妙に聞いていましたが、私は内心はらはらしていました。おまけに、「来ない方がいいよ。」とか言ってしまったのです。私は頭を抱えてしまいました。

案の定、後で進路希望をとると、その高校の志願者はゼロでした。あれから何十年たっても、その高校の名前が出るたび、廊下につばを思い出すのです。今はそうではないと思いつつも、強烈にインプットされたことは消えないのです。